



# 竹本容器決算説明資料

2014年1月1日 ~ 2014年12月31日

竹本容器株式会社

2015年2月13日

 TAKEMOTO

1. 当社の経営理念・ビジネスモデル

2. 2014年12月期業績概要

3. 2015年12月期業績見通し

4. 中長期目標

# 日本と世界の器文化に貢献する

## 使 命

生活上必要不可欠な容器

–カタチ(容)あるウツワ(器)–を通じて、  
顧客の商品である内容物の価値を安全に包み、  
更にその価値と個性化を高めることである。

## 社 是

使う人の心でボトルをつくる

化粧品、食品、医薬品向けなどに**容器を製造販売**しており、**容器を作るための金型を2,704型**（2014年12月末）所有しております。

化粧品向け容器



食品向け容器



日用・雑貨向け容器



医薬品向け容器



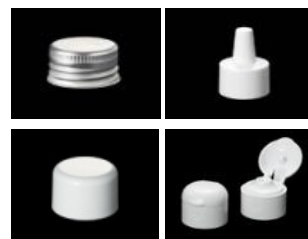
押し出しチューブ



ガラス容器



キャップ



ディスペンサー



当社グループ販売地域は日本、中国、アメリカなど世界に広がっており、2014年12月期の販売先数は**グループ全体で4,603社**となっています。

## 当社のスタンダードボトルビジネス 概要

### 顧客

(化粧品、トイレタリー用品等のメーカー)

容器を自社で独自に製造するには、  
金型の製作が必要な場合が多く、時  
間もコストも掛かる。  
一般的に、金型製作には3カ月程度  
の期間と数百万円の費用が必要。

課題

解決

### 竹本容器

#### スタンダードボトル

日本・中国で2,704点※の金型を保有  
主要な容器は1,213種類※を在庫品  
として保有。  
小ロット、多品種、短納期にも対応。

※2014年12月末時点

## 顧客のメリット

顧客は自社オリジナルの包装容器を、自前で金型製作するよりも  
**短期間かつ開発コストを抑えて調達できる。**

## 2.2014年12月期業績概要



### 2014年12月期決算ハイライト

	2013年12月期		2014年12月期		前期比	上場時の 公表値比
	百万円	%	百万円	%		
売上高	10,017	100.0	11,062	100.0	+10.4	+2.1
営業利益	757	7.6	877	7.9	+15.9	+4.5
営業外損益	56	0.6	2	0.1	▲ 95.7	-
経常利益	813	8.1	879	8.0	+8.1	+8.2
特別損失	35	0.4	9	0.1	▲ 74.3	-
税金等調整前 当期純利益	849	8.5	889	8.0	+4.7	-
当期純利益	592	5.9	581	5.3	▲ 1.8	+11.8

減価償却費	687	723
設備投資額	593	1,360
(うち 金型)	298	438
ROE	18.1%	13.1%

#### 売上高

日本国内が新規受注の増加により大幅増収。  
中国は顧客注文金型案件が伸びるも全体では微増ながら円安効果で増収

地域別セグメント	2013/12	2014/12
日本	7,764	8,568
中国	2,083	2,312
その他	169	180

#### 営業利益

2014年は原材料価格、中国の最低賃金上昇などの影響あるも増収効果で利益率UP

地域別セグメント	2013/12	2014/12
日本	498	630
中国	226	214
その他	30	32

#### 営業外損益

2013年度計上した為替差益69百万円が解消

#### 当期純利益

実効税率高い日本の税負担大きく減益

【参考】年度別平均為替レート

	2013年12月期	2014年12月期	前年同期比
対人民元	15.90 円	17.19 円	108.05%
対米ドル	97.65 円	105.79 円	108.34%

### 区分別販売実績

販売先の主要事業内容ごとの販売実績

区分	2013年12月期		2014年12月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
化粧・美容	5,710	57.0	6,472	58.5	762
日用・雑貨	510	5.1	681	6.2	171
食品・健康食品	936	9.4	972	8.8	35
化学・医薬	553	5.5	502	4.5	▲ 51
卸、その他	2,306	23.0	2,433	22.0	128
合 計	10,017	100.0	11,062	100.0	1,045

※上記区分は販売先の主要事業内容により分類したものであり、販売先における実際の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

### 区分別販売実績

製商品の内訳ごとの販売実績

区分	2013年12月期		2014年12月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
自社製品 (スタンダードボトル)	7,476	74.6	8,019	72.5	543
顧客金型製品	1,050	10.5	1,213	11.0	336
他社製品	1,191	11.9	1,527	13.8	162
材料その他	298	3.0	300	2.7	2.0
合計	10,017	100.0	11,062	100.0	1,044

※上記区分は以下により分類しています

**自社製品**：当社所有の金型を用いて生産した製品（スタンダードボトル）

**顧客金型製品**：顧客が金型費用を負担している製品

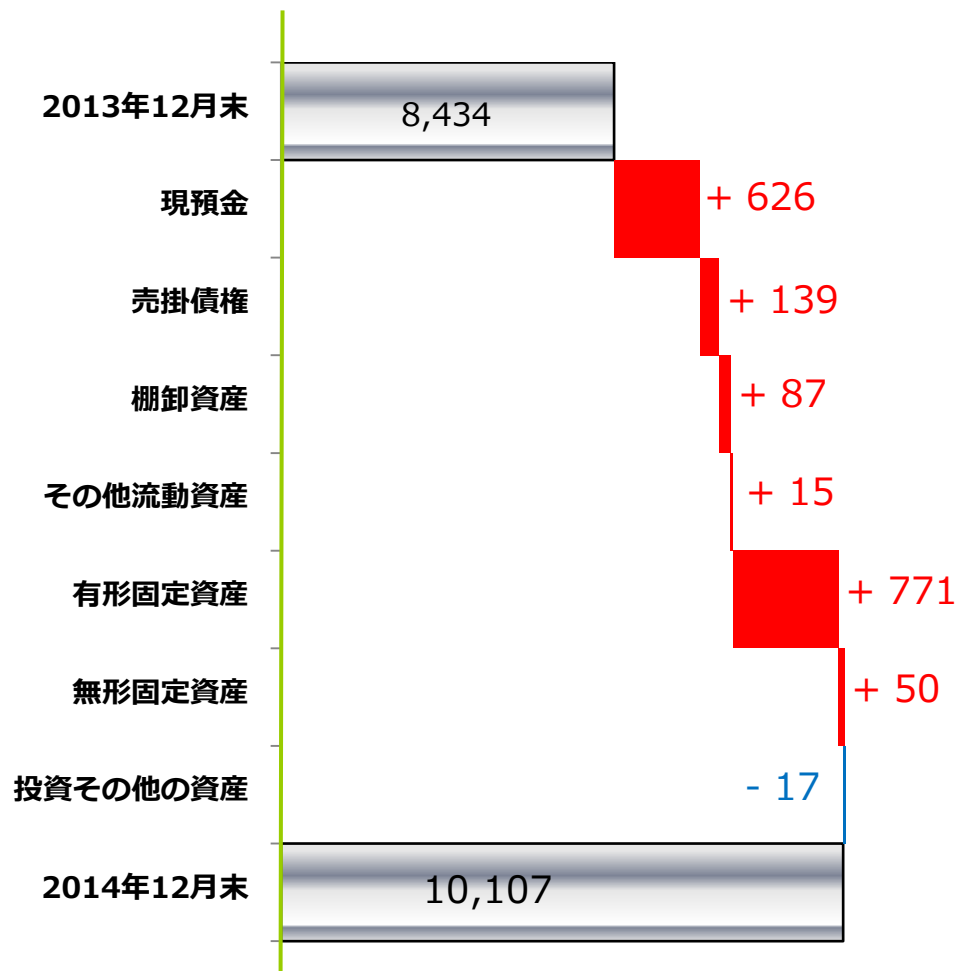
**他社製品**：顧客の要望等により他社から仕入れた品物

**材料その他**：協力メーカーへの原材料を販売した物等



### 2014年12月期 連結貸借対照表 資産の部

百万円

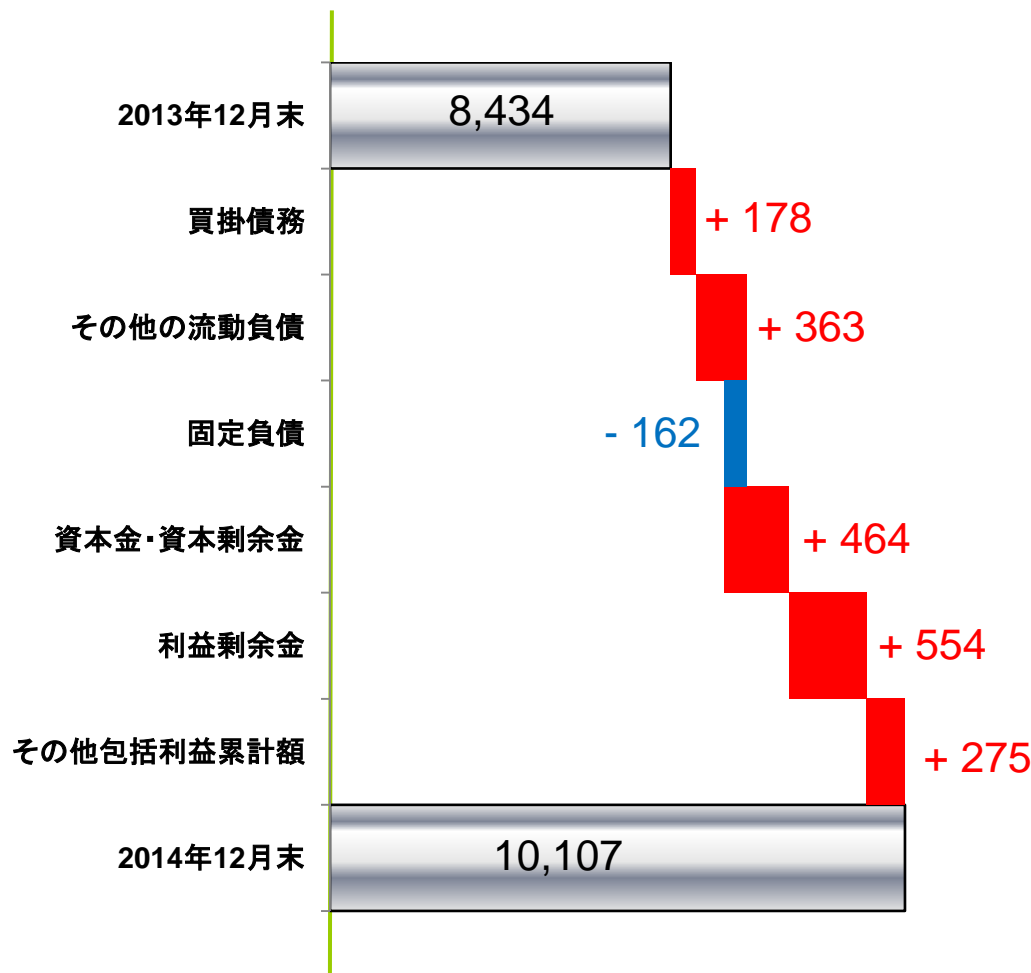


<b>■流動資産</b>	<b>+ 867</b>
現預金	+ 626
公募増資による調達	+ 458
売掛債権	+ 139
<b>■固定資産</b>	<b>+ 805</b>
有形固定資産	+ 771
機械装置及び運搬具	+ 102
金型	+ 159
建設仮勘定	+ 469
(富山新工場は2月完成予定)	

## 2.2014年12月期業績概要

### 2014年12月期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

百万円



#### ■負債 + 379

買掛債務	+ 178
未払法人税等	+ 105
長期借入金	▲ 293

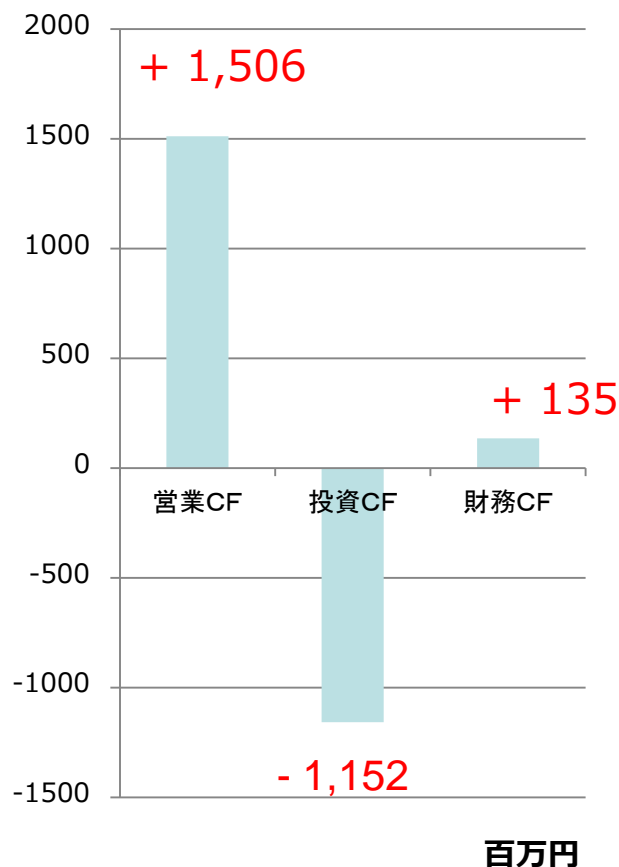
#### ■純資産 + 1,293

資本金	+ 232
資本準備金	+ 232
新規上場に伴う増資	

利益剰余金 + 554

その他包括利益累計額	+ 275
為替換算調整額	+ 294

### 2014年12月期 連結キャッシュ・フローの増減



**現金及び現金同等物は548百万円増加**

**■ 営業活動によるキャッシュ・フロー + 1,506**

税金等調整前当期純利益	+ 889
減価償却費	+ 723
売上債権の増加	△ 74
たな卸資産の増加	△ 57
仕入債務の増加	+ 148
法人税等の支払額	△ 225

**■ 投資活動によるキャッシュ・フロー △1,152**

有形固定資産の取得による支出	△ 1,050
----------------	---------

**■ 財務活動によるキャッシュ・フロー + 135**

長期借入金の増減	△ 293
株式の発行による収入	+ 458

# 3.2015年12月期業績見通し



## 2015年12月期 損益見通し

	2014年12月期		2015年12月期		前期比	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	11,062	100.0	11,605	100.0	543	+4.9
営業利益	877	7.9	1,040	9.0	163	+18.5
営業外損益	2	0.1	▲ 22	-	▲ 24	-
経常利益	879	8.0	1,017	8.8	138	+15.6
特別損失	9	0.1	▲ 5	-	▲ 14	-
税金等調整前 当期純利益	889	8.0	1,011	8.7	122	+13.8
当期純利益	581	5.3	672	5.8	91	+15.6

※想定為替レートは  
右表の通り

	2014年12月期	2015年12月期
対人民元	17.19 円	18.50 円
対米ドル	105.79 円	117.00 円

### 単年度計画ポイント

#### 売上高

日本、中国とも、2014年新規金型の売上貢献により続伸を見込む

地域別セグメント	2014/12	2015/12
日本	8,568	8,844
中国	2,312	2,801
その他	180	141

#### 営業利益

将来の安定的な供給能力拡大へ向けての生産体制強化による新工場立ち上げ生産機械購入などによる設備投資額は増加。また、原材料費は2013年並みの水準を想定

人材投資による費用も勘案しているものの、販管費全体の伸びを抑制することで営業利益率は9%台を目標とする

なお、2015年より日本国内の有形固定資産に対する減価償却の方法を定率法から定額法に変更します

地域別セグメント	2014/12	2015/12
日本	630	750
中国	214	260
その他	32	25

## 配当政策

	2014年12月期	2015年12月期 計画
中間配当金	—	12円
期末配当金	19円	12円
年間配当金	19円	24円
当期純利益	581百万円	672百万円
配当性向	18.6%	20.3%

- ・ 2015年12月期より中間配当を開始
- ・ 利益還元策は配当性向20%を目標として実施する方針

## 4. 中長期目標

### 中期計画（2015～2017）

	2015年12月期		2016年12月期		2017年12月期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	11,605	100	12,690	100	13,720	100
営業利益	1,040	9.0	1,140	9.0	1,260	9.2
経常利益	1,017	8.8	1,120	8.8	1,240	9.0
当期純利益	672	5.8	745	5.8	820	6.0
減価償却費	695		870		1,048	
設備投資額	1,538		2,247		1,450	
(うち 金型)	501		800		1,000	
EBITDA	1,735		2,012		2,310	

※中期計画における為替レートは人民元、米ドルとも2015年度計画と同水準を想定しています

### 中期計画ポイント

#### 売上高

日本、中国とも、新規金型の積極的投資により売上は成長  
すでに進出している米国、タイのほか、インド及びヨーロッパへも拠点展開し長期的視野で市場開拓を開始

#### 営業利益

将来の売上拡大への対応として、生産体制の増強を企図した設備投資と人材育成投資を実施する一方、営業利益率は9%台維持を目標

#### 金型投資

日本、中国での積極的な製品展開のための金型投資のほか、米国・タイ等その他の市場向け金型投資も実施予定

#### 数値目標

経営指標として長期的にはROE15%超を目指す  
当中期計画では投資を優先するため、12.5%を目標として設定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。